



精神科
3 年次
藤原 翔太郎

Q プログラムの特色を教えてください。

A 松沢病院での精神科研修の最大の特色は、精神科医療の「入り口」から、その後の「人生」までを、一つの病院の中で一貫して経験できることです。まず、緊急措置入院や措置入院を含めた精神科初期診療を、複数あるスーパー救急病棟で数多く経験できます。加えて、精神疾患をもつ患者さんの長期的な経過を、外来や慢性期病棟、身体合併症病棟で学べることも大きな強みです。精神科医療が長い経過の中で患者さんにどのような影響を与えるのか、また精神科患者さんに多い身体疾患や薬剤の副作用、長期的な影響を実感をもって学べることは、自分の診療の幅を広げてくれると感じています。連携施設で1年間研修する機会もあり、様々な考え方に触れることで、自分がいる施設の特徴や限界を見つめ直しながら、自分の診療を深めていけるプログラムだと思います。

Q この病院で研修を受けて良かったことは？

A 率直に、毎日がとても楽しいです。精神科医療では、治療面や社会背景も含めて、個々の症例ごとに異なる対応や問題解決も求められ、悩むことも多いですが、経験豊富な上級医や当院スタッフから意見をもらいながら、一つ一つの症例に向き合う面白さがあります。精神科医の人数が多く、さまざまな意見に触れられることに加え、参加自由の勉強会も活発で、自分のペースで学べるのも魅力です。専攻医を含め年次の近い医師どうしで、業務のことからプライベートのことまで自然に話せる雰囲気があり、日々の支えになっています。また、他科の先生とも同じ医局で机を並べているため、診療上の相談はもちろん、何気ない会話もしやすく、仕事の面でも人としても助けられていると感じています。